

6 各教科の授業改善の視点

(1) 国語

ア 出題について

これまで、諸学力調査等の結果から国語科の抱える課題は、与えられた文字情報から必要な情報を抜き出して活用するところにあると捉えてきた。今回、全ての学年で、平易な文章を読んで、書かれている内容を読み取ることができるか（読解力）を問う問題を

イ 特徴ある問題から

小5：2 5 文の構成や接続語の働き

中1：2 二（中学校共通）文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、語句と

中2：1 五 語句との関係を理解したりする。

（小学校5年）

（中学校1，2年共通）

<p>（問い）</p> <p>鉄と（ ）は電気を通す性質にちがいがあ</p> <p>ア アルミニウム</p> <p>イ プラスチック</p> <p>ウ 金ぞく</p> <p>エ 明かり</p>	<p>五 次の文章を読み、あとの（問い）の文中の空らんに入る最も適切な語をアからエの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましよう。</p> <p>「明かりがつくかな？」</p> <p>回路のどちらうに鉄やアルミニウムなどの金ぞくをつなぐと明かりがつく。しかし、プラスチックをつないでも明かりはつかない。</p>	<p>二 次の文章を読み、本文の内容から分かることとして最も適切なものを1から4の中から一つ選び、その番号を書け。</p> <p>「日本とのつながり」</p> <p>日本で消費される小麦、大豆、トウモロコシなどは、主にアメリカから輸入しています。アメリカは、輸出入とも中国に次ぐ貿易相手国です。また、自動車の大量生産やコンピュータ産業など、人々の生活を支える技術や産業の多くがアメリカで生まれました。</p> <p>1 日本で消費される小麦、大豆、トウモロコシは、アメリカよりも中国から多く輸入している。</p> <p>2 アメリカは、日本の最大の貿易相手国ではない。</p> <p>3 日本は、自動車やコンピュータを主にアメリカから輸入している。</p> <p>4 自動車はアメリカで生まれた。</p>
--	--	--

通過率51.8%

「鉄やアルミニウムなどの」という並立の関係にある文節に着目して誤答アを選んだり、「鉄やアルミニウムなどの金ぞく」という文節の係り受けに着目して誤答ウを選んだりしている。

また、（問い）の文中の「電気を通す性質のちがい」に気付いていないことも誤答の要因である。

中1：通過率30.7%、中2：通過率38.4%

本文「アメリカは、・・・中国に次ぐ貿易相手国です。」にある「次ぐ」という語の意味を理解できていないことから選択肢2を誤答と判断している。また、選択肢2が「アメリカは・・・ではない」という否定の表現になっていることを理由に、本文との意味の照合を正確に行っていない生徒もいる。

本文最後の「アメリカで生まれました。」という表現に着目し、誤答4を選択している生徒が多く見られた。自動車の大量生産の技術が、アメリカで生まれたことであることを読み取れていない。

ウ 授業改善のポイント【小・中共通】

書かれている事柄や内容を正確に読み取れるように以下の事項に注意する。

- ・ 主語と述語の関係を確認したり、修飾・被修飾の関係、接続の関係などに気を付けて読んだりして、文の構造を把握しながら読めるようにする。
- ・ 文章の中で、対象同士の関係を捉えられるように、書かれている事柄や内容を図表にまとめるなどして、内容を正確に読み取れるようにする。
- ・ 叙述に沿って内容を正しく理解できるようにするため、語と語の関係や対象と言葉との関係から表現されている内容をイメージしたり、文章の内容や情景から書き手の意図を推論したりできる力を高め、文章に対する自分の考えをもてるようにする。
- ・ 設問を読む際にサイドラインを引かせるなど、何が問われているのかしっかりと把握した上で予想したり見当を付けたりしながら読めるようにする。

(2) 社会

ア 出題について

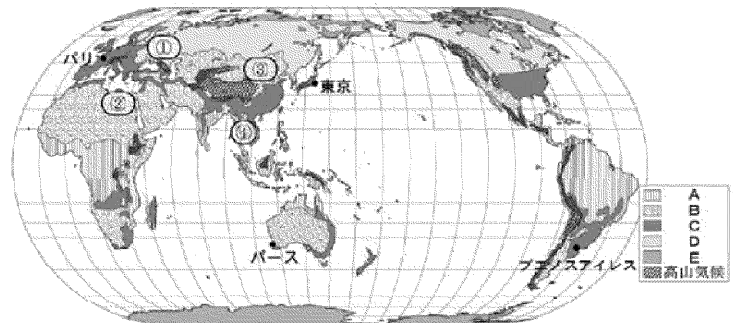
これまでの鹿児島学習定着度調査の結果から、地図、雨温図、表等の資料を関連付けたり比較したりして読み取ったことを基に、社会的事象を説明することに課題が見られたため、次のような問題を出題した。

小5においては、自動車工業の特色及び工業地帯の特色を資料（地図、写真）等から読み取る問題を出題。

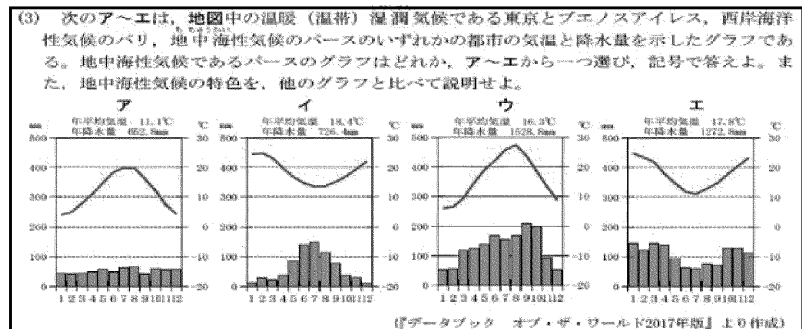
中1においては、地図や雨温図を基に気候の特色を説明する問題、中2においては、江戸時代に出された法を指示された語句を用いて説明する問題を出題。

(地図)

- イ 特徴ある問題から：中1 ②(3)
 (世界各地の人々の生活と環境)
 平均通過率：9.5%
 無解答率：5.9%



- ※ 過去の類似問題の平均通過率
 H26 地中海性気候
 (平均通過率 19.1%)
 H27 西岸海洋性気候
 (平均通過率 23.7%)
 H28 地中海性気候
 (平均通過率 29.6%)



ウ 授業改善のポイント

- 獲得させる社会的な見方・考え方を明確にする。
 - ・ 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる重要なツールになるのは、地図や地図帳です。教科書に掲載されている地図や写真とともに、地図帳や掛け地図なども有効に活用を図る必要がある。
 - ・ 気候については、まず、地図で国や都市等の位置(緯度)を確実におさえること、そして、次に夏に少雨か冬に少雨かなど、気温の変化と降水量の関係、植生の特徴など、他地域と比べる視点を意識することが重要である。
- 着目する視点を明確にし、課題を追究したり解決したりする活動を行う。
 - ・ 社会的事象を時間、空間、相互関係などに着目して捉え、関連付けたり比較したりして自分なりの考えをまとめる活動を積極的に取り入れる。
 - ・ 児童生徒質問紙の結果から、特に中学校では、先生の説明を聞く活動が中心であり、互いに発表したり、説明したりする活動が少ない傾向にある。社会的事象の比較・関連付け・順位付けなど、目的を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善に取り組む。
- 自分の考えを書く活動を効果的に取り入れる。
 - ・ 発表やグループ等での話し合いをする際には、必ず自分なりの考えをまとめる。まとめる際には、考えたことや選択・判断したことを根拠や理由を基に記述することが大切である。

(3) 算数・数学

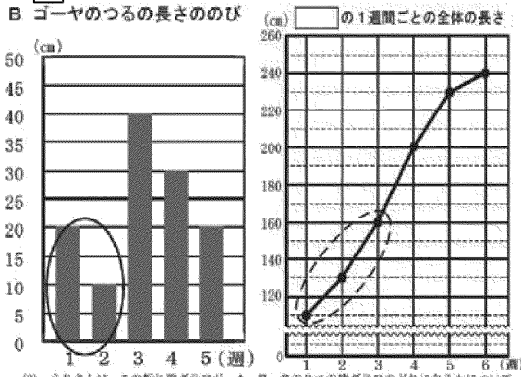
ア 出題について

小5においては、グラフの読み取りや複数のグラフを関連付けて解答する問題や3ページにわたり問題を読み取り判断する問題を出題

中学校においては、問題や会話を読み取り、説明を記述させたり判断したりする問題を出題

イ 特徴ある問題から

10 (2) 折れ線グラフと棒グラフ



(2) えりさんは、この折れ線グラフが、A、B、Cの3つの棒グラフのどれになるかについて、次のように話しています。

折れ線グラフの〇の部分と、棒グラフの〇の部分を見ると、この折れ線グラフは、ゴーヤの成長した長さを表したものでないことが分かります。

えりさんが、「折れ線グラフは、ゴーヤのつるの成長を表したものでない」と考えたのは、折れ線グラフの〇の部分の変わり方と、棒グラフの〇の部分ののびを比べて、どんな違いがあるからでしょうか。「変わり方」；「のび」という言葉や絵を使って、説明しましょう。

(説明)

2つのグラフを関連付けながら具体的な数値を用いて数学的な表現で説明できていない。
(無解答率10.7%)

グラフ上のそれぞれの点の表す意味を捉えることができていない。
(通過率25.2%)

ウ 授業改善のポイント

【小学校】

表や棒グラフ、折れ線グラフで表したり、読み取ったり調べたりする学習の振り返りをする。

既に指導した関連する内容を意図的に取り上げ関連付けて学習させるなど、積極的に学び直しの機会を設けるようにする。

平均に関する問題や割合に関する問題は、課題であり、中学校においても継続している。図や表、グラフ、具体的な数値等を用いて丁寧な指導に努める。

【中学校】

比例、反比例、一次関数など関数の特徴を、表、式、グラフで捉えるとともに、それらを関連付け説明させたり、判断させたりする活動を設定する。

「式の利用」については通過率が低く、課題が継続している。重点課題としても「文字を用いた式」の記述の問題の通過率は、27.0%であり、鹿児島学習定着度調査の「文字を用いた式」の記述問題の通過率は中1で29.8%、中2で18.4%と低い。根拠を基にして、自分の考えを記述し、説明する機会を設定する。

【小・中共通】

かごしま学力向上支援Webシステムの単元の評価問題や全国学力・学習状況調査の問題等を利用して、自分で問題を読み取り、記述する機会を設定する。

自力解決の際、ノートには、結果だけではなく、図や表に整理しながら自分の考えを記述させる。根拠となる数値や数学的な表現を用いた記述に努めさせる。

【中2】 8 3 比例のグラフと読み取り

8 日本では、節電・温暖化対策のためのキャンペーン「あかり未来計画」が開始され、白熱電球から省エネ効果の高いLED電球などへの切り替えが呼びかけられている。下の【表】は、あるメーカーの一般的なLED電球、蛍光灯型電球、白熱電球の3つの電球1個についてまとめたものである。なお、1か月は30日とし、各電球の電気代は使用時間に比例するものとする。このとき、次の1～3の問いに答えなさい。

【表】

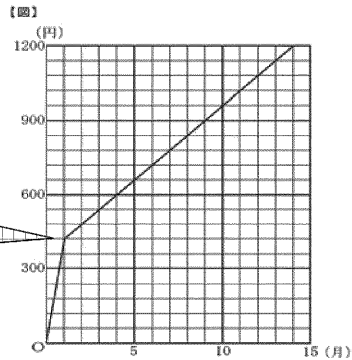
	LED電球	蛍光灯型電球	白熱電球
寿命	40000時間	6000時間	1000時間
月間の電気代(1日10時間使用)	60円	90円	
値段	1500円	800円	

表の表す意味を捉えられていない

3 春人さんの家には、LED電球、蛍光灯型電球、白熱電球がそれぞれ電球の使い方で電気代がどうなるか、春人さんは次の2通りの使い方で

- ① 白熱電球を1か月使ってから、LED電球に切り替える。
- ② 最初から、蛍光灯型電球を使い続ける。

下の【図】は、①の電気代について、時間と料金の関係をグラフに表したものである。②の電気代を表すグラフを、解答用紙の【図】にかき入れよ。また、①の使い方と②の使い方では、何か月をこえると、①の電気代の方が安くなるか答えよ。



(4) 理科

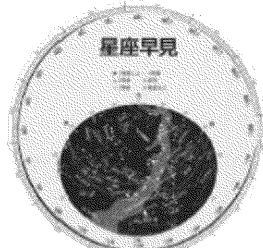
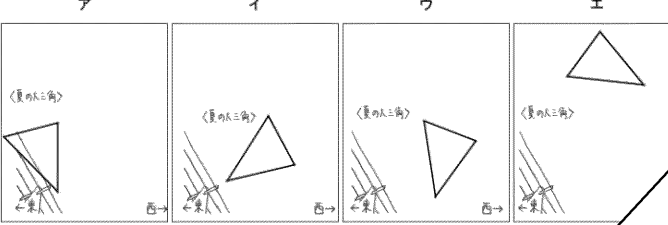

ア 出題について

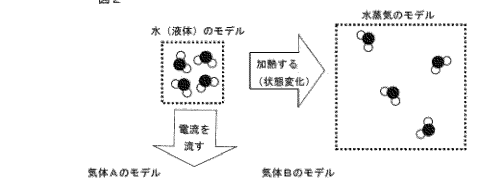
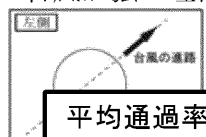
小5においては、会話文から問題を読み取り、星の動き等を思考して判断する「思考・表現」に関する問題を、3ページにわたり出題

中1においては、会話文から問題を読み取り、光の進む方向やできる像などを思考して判断する「思考・表現」に関する問題を、4ページにわたり出題

中2においては、水を電気分解して発生した気体をモデルで表現する問題と、台風の勢力が衰える理由等を、説明文から読み取り、思考して判断する「思考・表現」に関する問題を

イ 特徴のある問題から 小5[8], 中2[4], [7]

<p>8 (1) 星座早見の使い方</p>  <p>平均通過率 42.6%</p>	<p>(2) 夏の北三角の動き</p>  <p>平均通過率 59.5%</p> <p>(4) 南の空の星の動き</p>  <p>平均通過率 59.6%</p>	<p>誤答傾向</p> <p>(1) 方位で答えている。 (2) (4) 北の空の動きで考えている。 ※ 実験の技能が身に付いていない。 (星座早見) ※ 東西南北の星の動きが理解できていない。</p>
---	---	---

<p>4 (3) 発生した気体をモデルで表現</p>  <p>平均通過率 50.7%</p> <p>平均通過率 30.5%</p> <p>誤答傾向 酸素原子●を書いている。 ※ 気体を分子モデルで表現できない。</p>	<p>7 (1) 台風の勢力が衰える理由</p> <p>平均通過率 9.3%</p> <p>【資料3】 熱帯低気圧について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低緯度の熱帯の海上で発生する低気圧である。 ・ 熱帯地方は海水温度が高いため、海面から蒸発した多量の水蒸気が台風のエネルギー源や雲の原料となり、上昇気流が生じ雲ができる。海水温度が高い海上に熱帯低気圧がとどまることで、熱帯低気圧の勢力が強くなる。 ・ 熱帯低気圧の勢力が強くなり、最大風速が17m/秒以上のものを台風と呼ぶ。 <p>(2) 進路の右側が、台風が強い理由</p>  <p>平均通過率 12.9%</p> <p>誤答傾向</p> <p>(1) 「海水温度の低下」が書けていない。 (2) 無解答が多い。無解答率29.9% ※ 資料3を読み取り、思考できない。 ※ 日常生活と関連付けて、台風を捉えていない。〔防災教育との関連〕</p>
---	---

ウ 授業改善のポイント

【小学校】

- ・ 「問題解決の過程」を踏まえた授業を引き続き展開するとともに、問題の設定や実験の企画、観察、実験の結果の処理、考察の場面など、個人で考え、その後、意見交換したり、根拠を基にして話し合ったりして、自分の考えをより妥当なものにしていく学習を行う。
- ・ 観察、実験の技能を問う問題や、新規で出題した問題の平均通過率が低いことから、単元末には学習したことを振り返り、定着させる取組を行う。

【中学校】

- ・ 「探究の過程」を踏まえた授業を展開する。特に、「予想や仮説を設定し、検証する実験を企画する」場面を大切に、見通しをもって観察、実験を行い、得られたデータを分析して解釈し、適切に判断させることを繰り返し行わせる。
- ・ 単元末には、理科で学習した原理・法則を、身近な自然や日常生活に関連付けながら、説明させる場面を設定し、理科を学ぶ意義や有用性を実感させる。
- ・ 「思考・表現」に関する問題の平均通過率が低いことから、「思考・表現」に関する力の育成を意識した指導を進めるとともに、定期テストにおいても、知識や技能を活用しながら科学的に思考し、文章や図にまとめて表現するような問題を出題する取組を行う。

(5) 英語

ア 出題について

中1においては、ある程度の長さまとまりのある英文中の副詞 there が示す具体的な内容を問う問題を出題

中2においても、やや長めの物語文の登場人物の気持ちについて、その理由を問う問題を出題

イ 特徴ある問題から

8 (2) 登場人物の気持ちについて理由を説明

- 下線部②でTakeshiが嬉しくなった理由に当たる部分を特定し、日本語で説明することができていない。(通過率 29.0%, 無解答率 22.3%)

His picture was beautiful and he really liked it, but he didn't win a prize*. He was (①). He thought, "Now I know. Being a photographer is not easy*. Can I do it?"

The next day, he went to the park. An old woman was walking with a little girl. Takeshi thought*, "I want to take pictures of their smiles*." He went to them and asked about it. The old woman said, "Yes, of course." He took their pictures and said to them. "I'll send* you the pictures*."

Two months later, Takeshi met the old woman on the street. She said, "Thank you for sending me the pictures. Please come to my house and have some tea." "Oh, thank you," he answered. When he went to her house, he saw a picture in the room. "I took that picture!", said Takeshi. The old woman said, "Yes, that's right!" ② Takeshi was very happy.

• Takeshi は写真家になる夢に自信を失いかけているところに、公園で老婦人と少女に出会い写真を撮って送った。



• Takeshi は老婦人に再会し、家に招かれ、自分が撮ってあげた写真が飾ってあることを知った。 → happy

【誤答傾向】

① 本文全体を読んで、登場人物や話の大まかな流れなど、物語の概要がつかめず、答えが全く想像できない。

② 話の展開に関わる要点を捉えられず、Takeshi の気持ちの変化が読みとれていない。

また、the old woman や my house, that picture が指すものは何なのかなど、文と文の関係に留意して読み取ることができず、「家に招待されてお茶を勧められたこと」などを理由にあげてしまう。

ウ 授業改善のポイント

- 思考力・表現力の向上のために
 - 長さまとまりのある文章を読み取らせた後、Why was Takeshi happy when he visited her house? などのQ & Aにより、生徒に要点をつかむ練習をさせる。
 - 文中の he や she, that, then, there などが何を指しているのかを答えさせたり、情報の関係を示す接続詞に注目させ、文と文の関係に留意しながら読み取らせたりする。また、文章の流れを理解するためのキーワードを拾わせながら、読み取れたことを数文の英語でまとめさせるなどの活動を行う。
- 基礎・基本を身に付けさせるために
 - 語順などの基本的な事項も大切に、授業中の教師と生徒、生徒同士の対話、読んだり聞いたりして分かったことや思ったことを書くなど、4技能において英語を繰り返し使用する活動を行う。
- かがしま学力向上支援Webシステムの単元の評価問題等の活用
 - 問題を解かせた後、5W1Hに留意しながら本文の概要をつかませる。
 - 小問の答え合わせをしながら、要点を押さえる。(物語における展開部分や説明文における事実の正確な読み取りなどが、要点を押さえる学習につながる。)

Ⅳ 児童生徒質問紙の結果概要

1 概要

(1) 目的

児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握・分析し、今後の個に応じたきめ細かな指導方法の改善に生かすとともに、家庭学習の在り方や教科指導の充実を図るための参考資料とする。

(2) 実施学年及び内容

ア 実施学年

小学校 5 年

中学校 1・2 年

イ 内容（16 項目）

学習への心構えや意欲の傾向

教科指導に対する認識

授業の在り方に対する意識の傾向

(3) 分析の仕方と活用

「学力調査」の結果との関係等を分析し、今後の指導方法の改善・充実に活用する。

(4) 児童生徒の傾向

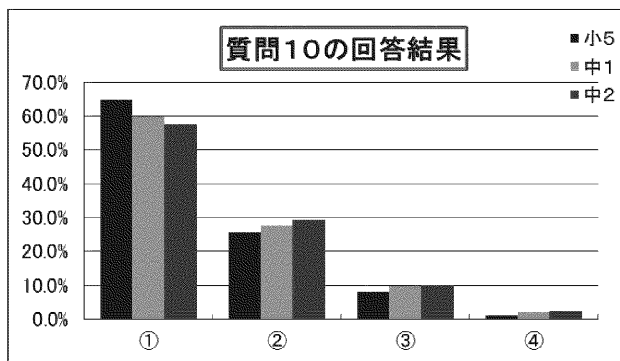
「授業改善のポイント」（県教委 HP「学校教育＜学力＞確かな学力の定着＜学びの羅針盤＞授業改善のポイント」参照）に照らし、以下に児童生徒の傾向と指導のポイントを示す。

ア 目標の明確化と学習課題の工夫

- 約 9 割の児童生徒が「授業のめあて（学習目標）を立てている」と回答している《質問 10》。
- 平成 29 年度全国学力・学習状況調査学校質問紙の結果では、ほぼ全ての学校が「授業のめあて（学習目標）を設定している」と回答している（小学校 99.8%，中学校 98.2%）。児童生徒が興味・関心をもち、解決の意欲が高まるようなめあて（学習目標）になっているのかという視点で再考したい。
- 知的好奇心をかき立てる事象や教材の提示を通して高められた児童生徒の問題意識をもとに、解決したいことを話し合い、それらを焦点化してめあて（学習目標）を設定することが大切である。

10 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか。

- ① よくしている。 ② どちらかといえばしている。
③ あまりしていない。 ④ まったくしていない。



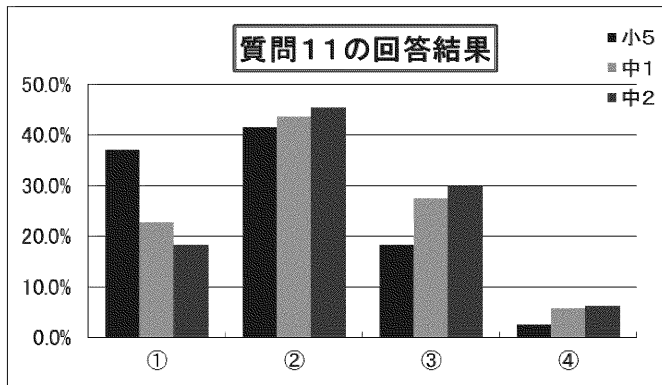
	①	②	①と②
小5	64.8%	25.8%	90.6%
中1	60.0%	27.8%	87.8%
中2	57.7%	29.5%	87.2%

イ 見通しと振り返りの活動の重視

- 児童（小学生）の約8割，生徒（中学生）の6割以上は、「めあてを確認した後，学習を見通す活動を行っている」と回答している《質問11》。
- 学習内容を振り返る活動については，児童の7割以上，生徒の6割以上が「授業の終わりに行っている」と回答している。いずれの学年も前年度よりも7%以上増加しているが，まだ十分には行われていない状況がある《質問12》。
- 平成29年度全国学力・学習状況調査学校質問紙の結果では，9割を超える学校が，「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている」と回答している（小学校95.8%，中学校94.1%）。児童生徒の回答とのずれがあり，教師の指導上の工夫が十分伝わっていない。
- 課題の解決に何が必要か，どう考えれば解決できそうか，どんな工夫をすればよさそうかなど学習の見通しを立てる活動や，板書やノートに書いたことを生かしてまとめたり，本時の思考過程（考えたこと）を整理したりするなどの効果的な振り返りの活動を，単元あるいは，単位時間の中で，計画的に位置付けることが，児童生徒の学習意欲の向上や学習内容の定着につながる。

11 めあてを確認した後，学習を見通す活動をしていますか。

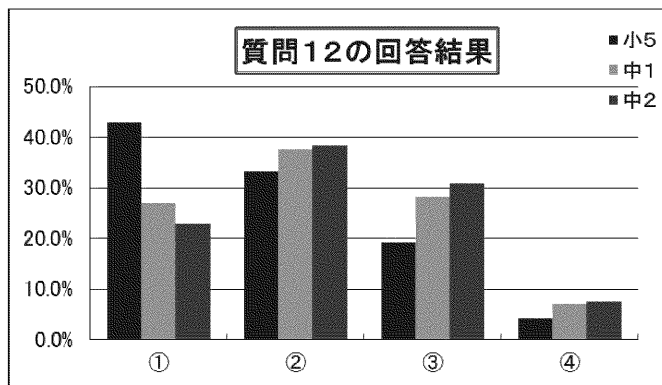
- ① よくしている。 ② どちらかといえばしている。
 ③ あまりしていない。 ④ まったくしていない。



	①	②	①と②
小5	37.2%	41.6%	78.8%
中1	22.8%	43.6%	66.4%
中2	18.3%	45.4%	63.7%

12 授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っていますか。

- ① よくしている。 ② どちらかといえばしている。
 ③ あまりしていない。 ④ まったくしていない。



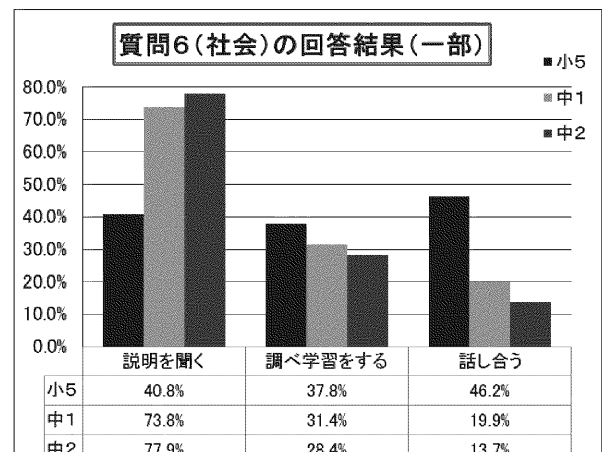
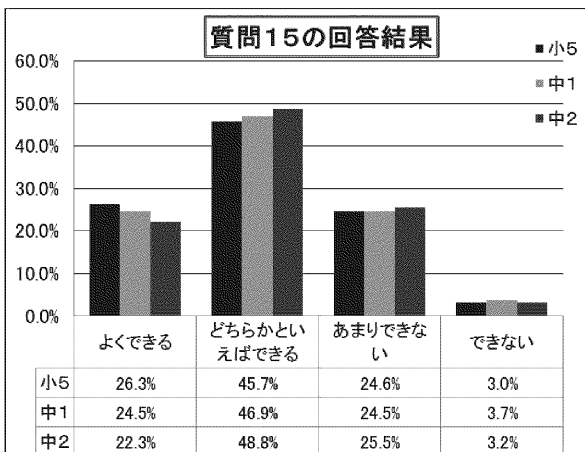
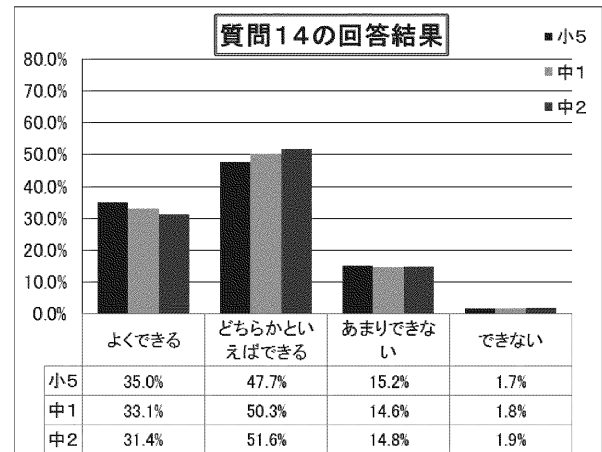
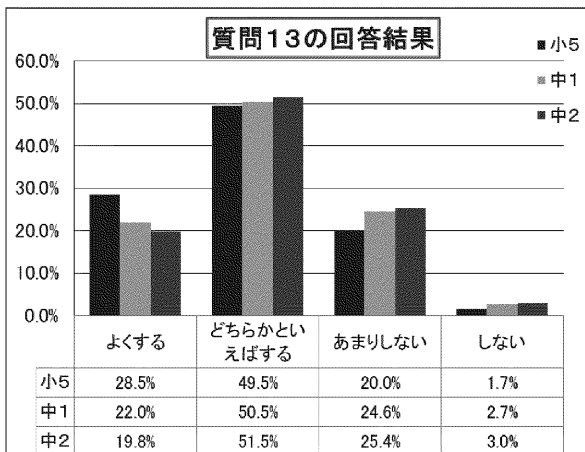
	①	②	①と②
小5	42.9%	33.3%	76.2%
中1	26.9%	37.6%	64.5%
中2	22.9%	38.3%	61.2%

ウ 主体的・協働的な学習活動の工夫

- 児童生徒の7割以上は、授業中に自分で考えたり、自分から進んで活動に取り組んだりしている」と回答している《質問13》。
- 児童生徒の8割以上が「友達と話し合うとき、友達のを考えを受け止めて、自分の考えをもつことができている」と回答している《質問14》。また、児童生徒の7割以上が「授業では自分の考えを深めたり広げたりしている」と回答している《質問15》。ペアやグループでの話し合い活動等で児童生徒を積極的に交流させ、思考の深まりを促す工夫に取り組んでいることがうかがえる。
- 学習活動の設定に当たっては、授業の目標や目的に応じて計画的に位置付けるようにして、児童生徒が意味やよさを実感できるようにしたい。特に、基本的な知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力等を発揮させる活動では、教科の特性や学習内容を踏まえて、どのような発言内容や取組内容を引き出すのか、というねらいを明確にして活動を設定することが重要である。

エ 各教科の学習活動の工夫

- 「日頃の授業でどのような活動をするのが多いか」という質問に対して、「先生の説明を聞く」を選択したのは、社会科では小学5年生が約4割であるのに対して、中学2年生では約8割と2倍になっている。他の教科でも同様に、授業は説明が多いと感じている傾向が見られる。また、「自分の考えや資料をもとに話し合う」が小学校から大きく下がっていることから、授業の改善・工夫が求められる《質問6》。
- 児童生徒がとてもやりがいを感じていると回答している授業は「自分たちで調べて課題を解決する授業」《質問7(5)》である。児童生徒が魅力を感じる授業や学習活動はどのようなものか、質問6や7の項目について自校の結果と比較したり、経年変化を確認したりするなど、職員間で話し合い、授業改善を図ることが大切である。

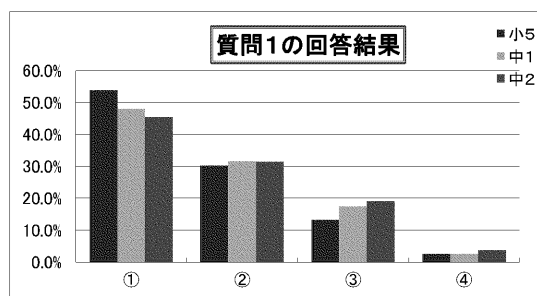


2 児童生徒質問紙の結果

1 家では、自分で学習（宿題や自分で計画した学習）していますか。

- ① している。
- ② どちらかといえばしている。
- ③ あまりしていない。
- ④ していない。

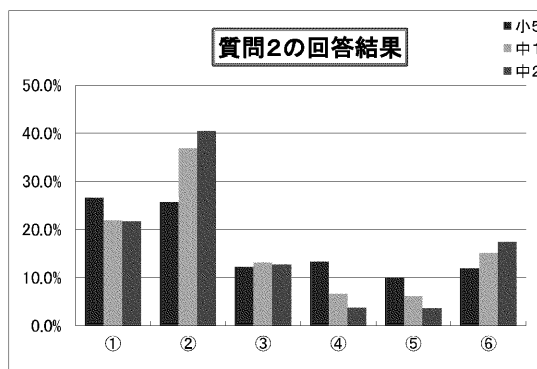
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	53.9%	48.1%	45.4%
②	30.2%	31.6%	31.5%
③	13.2%	17.4%	19.1%
④	2.5%	2.6%	3.7%



2 あなたが自分で計画を立ててやる学習の内容は、どんなものが多いですか。

- ① ドリル等の問題をやる。
- ② 教科書や問題集の練習問題をやる。
- ③ 教科書や参考書の文章や図、グラフなどを書き写す。
- ④ 自分でテーマを決めて調べ学習をする。
- ⑤ 次の時間の予習をする。
- ⑥ 計画を立てて学習していない。

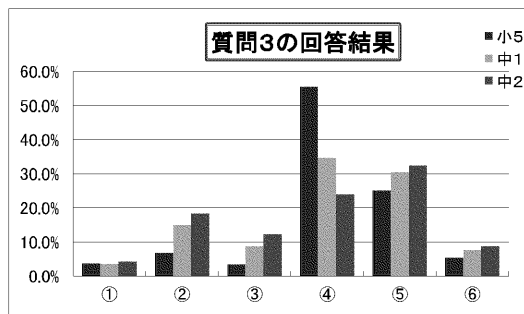
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	26.6%	21.9%	21.8%
②	25.7%	36.8%	40.5%
③	12.2%	13.2%	12.7%
④	13.4%	6.6%	3.7%
⑤	10.0%	6.2%	3.6%
⑥	12.0%	15.1%	17.4%



3 あなたは、家で学習しているときに、分からない問題があったら、どうしますか。

- ① 後で、学校の先生に聞く。
- ② 後で、友達に聞く。
- ③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。
- ④ 家族や親戚に聞く。
- ⑤ 自分で調べる。
- ⑥ そのままにしておくことが多い。

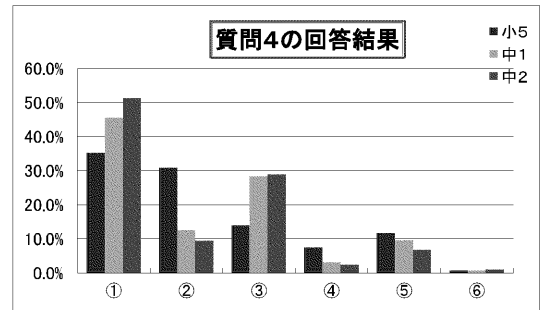
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	3.7%	3.5%	4.3%
②	6.8%	15.0%	18.3%
③	3.5%	8.7%	12.3%
④	55.4%	34.6%	23.9%
⑤	25.1%	30.4%	32.4%
⑥	5.3%	7.6%	8.7%



4 あなたは、授業中にどのような内容についてノートをとっていますか。

- ① 板書してあることを写している。
- ② 板書してあることを写すだけでなく、自分や友達の考えも書き込んでいる。
- ③ 板書してあることを写すだけでなく、先生の言葉も書き込んでいる。
- ④ 先生が指示したところだけ書いている。
- ⑤ 板書を参考に、自分なりにまとめ直しながら書いている。
- ⑥ ノートは、ほとんどとらない。

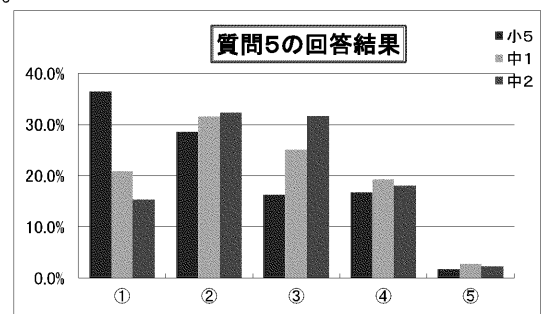
平成29年度			
	小5	中1	中2
①	35.2%	45.5%	51.3%
②	31.0%	12.6%	9.4%
③	13.9%	28.3%	28.8%
④	7.4%	3.1%	2.4%
⑤	11.6%	9.6%	6.7%
⑥	0.7%	0.7%	1.0%



5 あなたが、初めてのことを学習するときの気持ちはどれですか。

- ① どんなことを学ぶのか楽しみだ。
- ② 自分が好きな学習のときは楽しみだ。
- ③ 特に何も思わない。
- ④ できるかどうか（わかるかどうか）、心配だ。
- ⑤ どうせ自分にはできない（わからない）と、あまり期待しない。

平成29年度			
	小5	中1	中2
①	36.5%	20.9%	15.3%
②	28.5%	31.6%	32.3%
③	16.3%	25.1%	31.7%
④	16.8%	19.3%	18.0%
⑤	1.7%	2.8%	2.4%

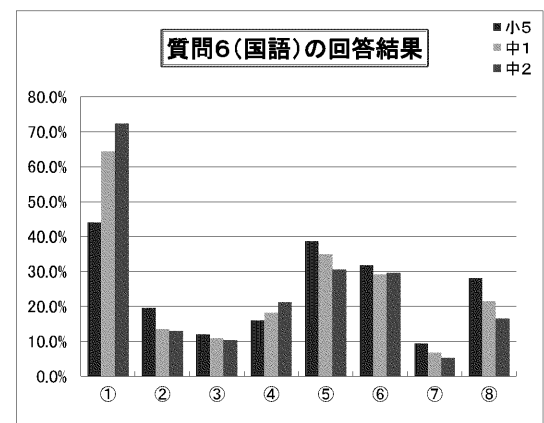


6 日頃の授業では、どんな活動をする人が多いですか。（各教科）

- ① 先生の説明を聞く。 [※2つ選択]
- ② 学習の手順や方法を考える。
- ③ 課題について、調べ学習をする。
- ④ 自分でじっくり考える。
- ⑤ 自分の考えを文章にまとめる。
- ⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。
- ⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。
- ⑧ お互いに発表したり、説明したりする。

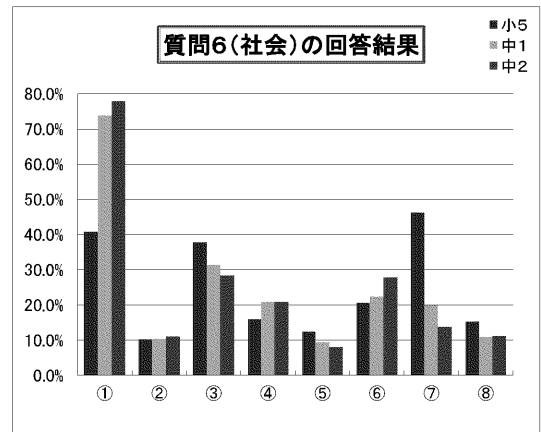
【国語】

平成29年度			
	小5	中1	中2
①	44.0%	64.3%	72.4%
②	19.5%	13.5%	12.9%
③	12.1%	11.0%	10.4%
④	16.0%	18.1%	21.2%
⑤	38.6%	35.0%	30.7%
⑥	31.8%	29.1%	29.6%
⑦	9.3%	6.8%	5.4%
⑧	28.1%	21.5%	16.6%



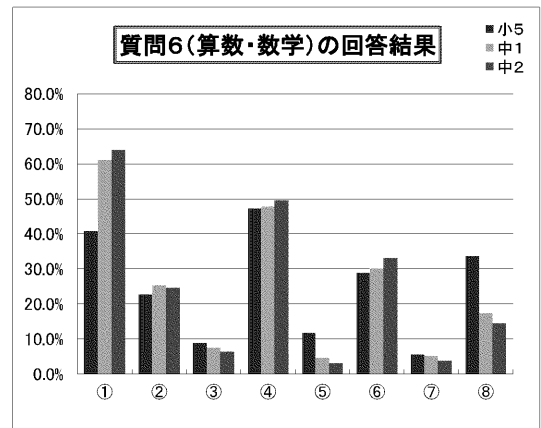
【社会】

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	40.8%	73.8%	77.9%
②	10.2%	10.4%	11.0%
③	37.8%	31.4%	28.4%
④	15.9%	21.0%	20.9%
⑤	12.3%	9.4%	8.0%
⑥	20.7%	22.3%	27.8%
⑦	46.2%	19.9%	13.7%
⑧	15.3%	11.0%	11.3%



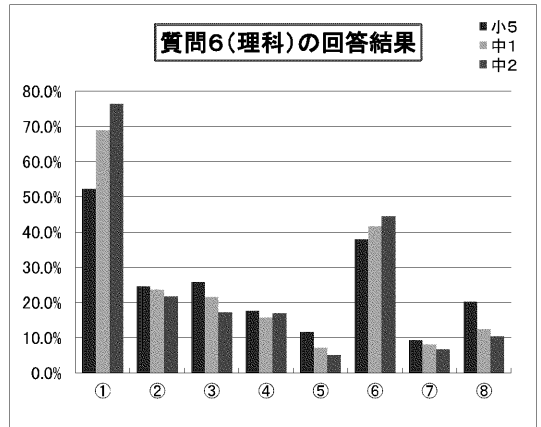
【算数・数学】

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	40.8%	61.2%	63.9%
②	22.6%	25.4%	24.7%
③	8.9%	7.5%	6.4%
④	47.3%	47.8%	49.5%
⑤	11.7%	4.7%	3.1%
⑥	28.9%	30.2%	33.1%
⑦	5.6%	5.1%	3.9%
⑧	33.6%	17.3%	14.5%



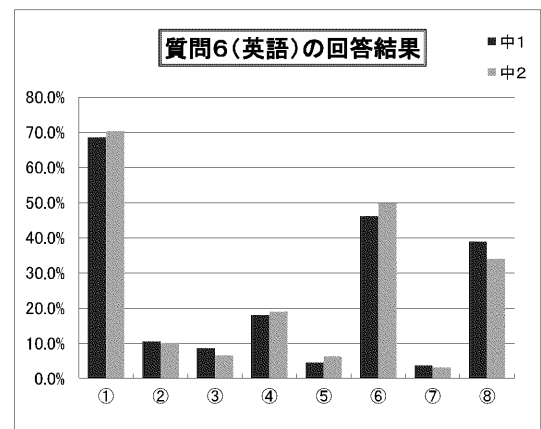
【理科】

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	52.2%	69.0%	76.4%
②	24.6%	23.7%	21.7%
③	25.8%	21.6%	17.2%
④	17.6%	15.6%	17.0%
⑤	11.6%	7.1%	5.1%
⑥	37.9%	41.6%	44.5%
⑦	9.3%	8.0%	6.7%
⑧	20.1%	12.5%	10.4%



【英語】

	平成29年度	
	中1	中2
①	68.6%	70.2%
②	10.5%	10.1%
③	8.5%	6.6%
④	18.0%	18.9%
⑤	4.5%	6.3%
⑥	46.2%	49.7%
⑦	3.7%	3.1%
⑧	38.9%	33.9%



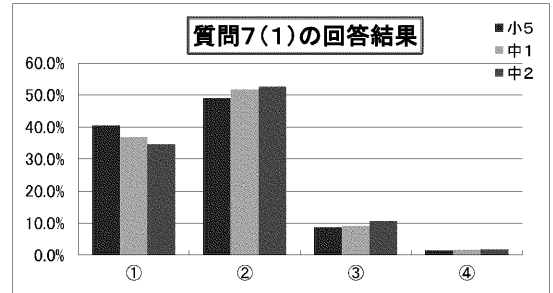
7

あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

(1) 先生がくわしく説明してくれる授業

- ① とてもやりがいを感じる。
 ② やりがいを感じる。
 ③ あまりやりがいを感じない。
 ④ やりがいを感じない。

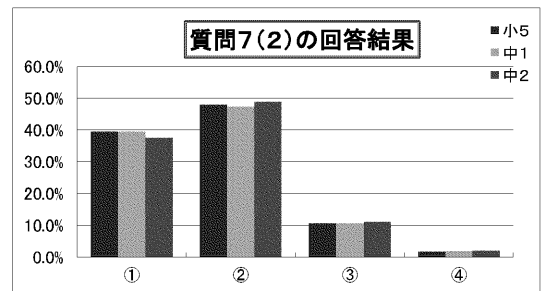
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	40.6%	36.9%	34.7%
②	49.0%	51.9%	52.5%
③	8.6%	9.2%	10.6%
④	1.6%	1.7%	1.9%



(2) 自分たちで考えたり話し合ったりする授業

- ① とてもやりがいを感じる。
 ② やりがいを感じる。
 ③ あまりやりがいを感じない。
 ④ やりがいを感じない。

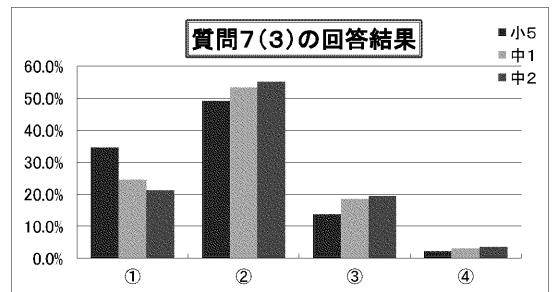
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	39.5%	39.6%	37.6%
②	47.9%	47.4%	48.9%
③	10.7%	10.7%	11.2%
④	1.8%	2.0%	2.1%



(3) 自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業

- ① とてもやりがいを感じる。
 ② やりがいを感じる。
 ③ あまりやりがいを感じない。
 ④ やりがいを感じない。

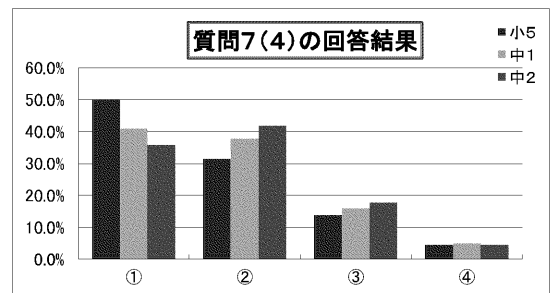
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	34.6%	24.6%	21.3%
②	49.2%	53.4%	55.3%
③	13.9%	18.6%	19.6%
④	2.2%	3.1%	3.5%



(4) 難しい課題に挑戦する授業

- ① とてもやりがいを感じる。
 ② やりがいを感じる。
 ③ あまりやりがいを感じない。
 ④ やりがいを感じない。

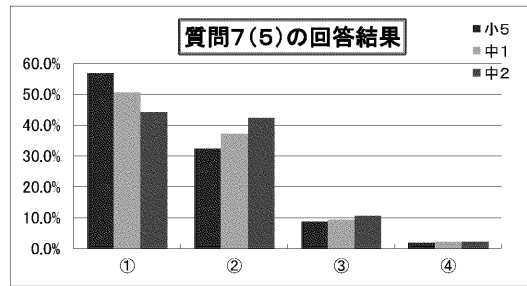
	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	49.9%	41.0%	35.7%
②	31.4%	37.8%	41.9%
③	13.9%	16.0%	17.6%
④	4.6%	5.0%	4.5%



(5) 自分たちで調べて、課題を解決する授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

平成29年度			
	小5	中1	中2
①	56.8%	50.7%	44.2%
②	32.4%	37.3%	42.4%
③	8.7%	9.4%	10.6%
④	1.9%	2.2%	2.3%

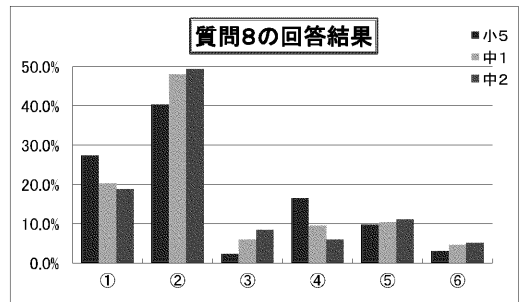


8

あなたは、授業中分からないことがあったら、どうしますか。

- ① 先生に聞く。
- ② 友達に聞く。
- ③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。
- ④ 後で、家族や親戚に聞く。
- ⑤ 自分で調べる。
- ⑥ そのままにしておく。

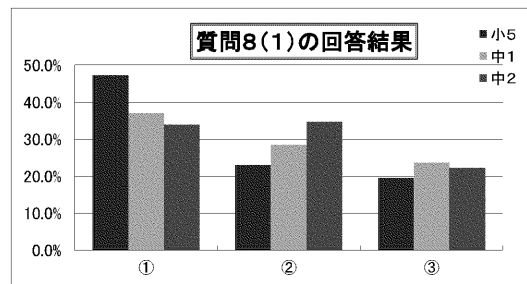
平成29年度			
	小5	中1	中2
①	27.5%	20.4%	18.9%
②	40.5%	48.1%	49.4%
③	2.4%	6.0%	8.5%
④	16.6%	9.6%	6.0%
⑤	9.8%	10.4%	11.1%
⑥	3.1%	4.7%	5.2%



(1) ①と②を選んだ理由は何ですか。

- ① 分からないままにしたくないから。
- ② 聞いたら分かるかなと思うから。
- ③ 先生や友達は聞きやすいから。

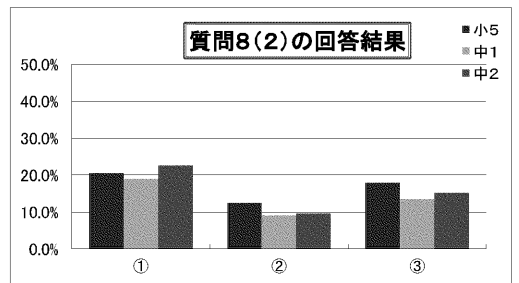
平成29年度			
	小5	中1	中2
①	47.3%	37.0%	33.9%
②	23.0%	28.5%	34.8%
③	19.5%	23.7%	22.2%



(2) ③と④を選んだ理由は何ですか。

- ① 説明が分かりやすいから。
- ② いつも聞いているから。
- ③ 聞きやすいから。

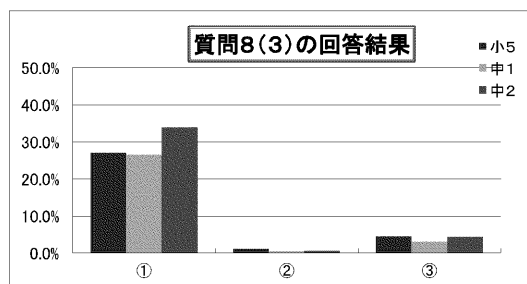
平成29年度			
	小5	中1	中2
①	20.5%	19.0%	22.5%
②	12.4%	9.1%	9.6%
③	17.9%	13.6%	15.2%



(3) ⑤を選んだ理由は何ですか。

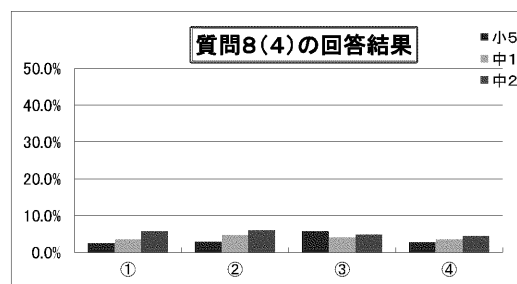
- ① 自分で調べたいから。
- ② 自分で調べるように先生に言われているから。
- ③ だれにも聞くことができないから。

平成29年度			
	小5	中1	中2
①	27.1%	26.7%	33.9%
②	1.1%	0.5%	0.6%
③	4.6%	3.1%	4.4%



- (4) ⑥を選んだ理由は何ですか。
- ① いつもそうしているから。
 - ② 聞いたり調べたりするのがめんどうだから。
 - ③ 分からないことをうまく伝えられないから。
 - ④ 聞きにくいから。

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	2.5%	3.5%	5.8%
②	2.9%	4.7%	6.1%
③	5.8%	4.1%	4.9%
④	2.8%	3.5%	4.4%



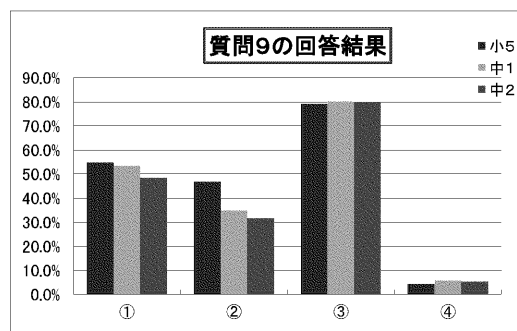
9

学習する中で楽しいと感じたり、やりがいを感じたりする時は、どんな時ですか。

- ① 教科の学習（国語，算数など）
- ② 道徳や総合的な学習の時間
- ③ 特別活動（学級活動，学校行事など）
- ④ 楽しさや，やりがいを感じる時はない。

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	54.9%	53.4%	48.4%
②	46.9%	34.8%	31.6%
③	79.1%	80.2%	79.9%
④	4.4%	5.7%	5.4%

[※複数回答]



16

授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かすことができますか。（新規）

- ① よくできている。
- ② どちらかといえばできている。
- ③ あまりできていない。
- ④ まったくできていない。

	平成29年度		
	小5	中1	中2
①	35.8%	23.7%	18.2%
②	46.3%	48.6%	50.2%
③	15.3%	23.8%	27.0%
④	2.2%	3.5%	4.1%

